

パワー浜松ロータリークラブ週報 2013年7月30日号

パワー浜松ロータリークラブ(2013-14年度会長:松本好司)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel:053-452-0800 Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立:2002年10月22日 認証伝達式:2003年4月29日 スポンサークラブ:浜松中RC

本年度テーマ:Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう ～心で感じて・考えて・活動しよう～



第496回例会 7月30日(火)AM7:30~8:30オークラクトシティホテル浜松4F平安の間

- 司会:加藤ひとみ、近藤雅彦 ■点鐘:松本好司
- ロータリーソング:夢のみずうみ
- ゲスト 衆議院議員 城内実様、秘書 安田年一様
- ビジター 浜松 RC 海野育男様
- 議事 城内実様 卓話

出席報告

本日出席率
67/78 名
85.89%
前々回出席率
87.34%

会長挨拶



松本会長 挨拶



城内実様と松本会長

本日はゲストに衆議院議員 3 期目の城内実様、秘書の安田様をお迎えしております。信念の政治家、城内実様にいろいろな角度から、お話をいただくと、今朝は期待をしております。

城内先生のオフィシャルサイトには、教育・農林水産業・地域産業・外交安全・環境・年金医療福祉の 6 項目にて政策・理念を掲げられています。

私たちRotaryも、基本理念すなわちRotaryの目的としてクラブ奉仕・社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕と先週お話ししました 4 つのテストを掲げています。

『ぶれない!! 信念を貫く!!』が信条の城内先生を少しでも見習って、今後のロータリー活動に活かしたいと思えます。

城内実先生、本日はよろしくお願いたします。

幹事報告

- ① 本日、例会修了後 8:45 より第一回理事会を3階メイフェアの間にて開催をします。関係者の方は出席をお願いいたします。
- ② 次回、8月6日の第 497 回例会は財団プログラム部会担当で未来夢計画の『みやこだ自然学校』代表 加藤正裕様をお招きして卓話を頂きます。ご出席お願いいたします。

委員会報告



優勝者の廣瀬さんに
小澤直前会長より記念品増呈



準優勝者の龍谷さん

ゴルフ同好会の稲野清治会長

7月28日に行われた青空例会ゴルフの結果発表がありました。優勝者は廣瀬隼人さん、準優勝は龍谷義行さん、お二人は本年度青空例会の会長、幹事となります。

国際奉仕プロジェクトの伊藤麻衣PL

8月20日の担当例会について報告がありました。当日はミャンマーより元メンバーの菅野学享さんお招きして卓話をお願いしています。例会終了後に菅野さんを交えて懇親会も計画しています。

スマイル報告

松本好司・諸星圭吾

城内実様、本日早朝より貴重なお話を頂きまして、誠にありがとうございました。今後も城内様のご活躍を応援したいと思います。本日はありがとうございました。

会場監督一同

城内様、本日はご多忙のところ早朝より当クラブにお越しくださしまして誠にありがとうございました。アルジェリア事件では、「交換人質」を覚悟して現地入りされましたとの事、新聞やニュースでは知り得ない貴重なお話を聞かせ願えました事に深く感謝申し上げます。これからも「万民幸福」の願を胸にぶれない政治を実践されますよう祈念致します。

坂井光蔵

日曜日の青空例会に参加していただきありがとうございました。暑い中、熱中症にもならず、楽しくゴルフができました。私はベスグロでしたが、成績はブービーでした。トホホ!

伊藤勝人

28日(日)ようやく5年目に伊良湖の沖で小さなカジキを釣りました。浜名湖で釣り上げていない船は私一人だったのでホッとしています。これからも顔に黒化粧をしていきます。

近々例会情報

8月20日(火)夜間例会 奉仕プロジェクト委員会
元メンバーの菅野学享様による卓話『ミャンマーの現状』

第496回例会 7月30日(火) 卓話

卓話者 衆議院議員 城内実様

『世界平和における日本の外交』



城内実様と松本会長



城内実様



城内実様

パワー浜松ロータリークラブの皆様、おはようございます。城内実でございます。今日はアルジェリアの事件について話をせよと言うことで、お招きいただきました。私の事を「信念の人」と紹介していただきましたが、今年の5月、自由民主党に復党しましたおりに、信念がないのか!とお叱りを受けています。郵政の法案に反対した時も「お前は、なんて馬鹿なことをしたのだ!」と周りの人からお叱りを受け、選挙にも負けましたが、この時に他の人の100倍の努力をし、逆境をバネにする、マイナスをプラスにするということを学びました。

12月の選挙の後、外務省政務官を仰せつかりました。年の明けた1月、クロアチアへの訪問中にインターネットでアルジェリアの事件を知りました。事件発生後の30時間後にはアルジェリアの首都・アルジェに入りました。現地の情報は錯綜していましたが、当然です。首都アルジェから遠く離れた砂漠の中での事件です。現場に居る者でなければ、何が起きているのかわかるはずありません。しかし、各国の大使と連携し、互いの持つ情報を交換しておりました。集められた情報が漏れないように、全て東京に送り、対外的な発信は全て官房長官が行うことで一本化しています。

現地では私は特別なことは、何もしていません。現地のスタッフに向けて「責任は私が持ちますから、皆さんは思うように動いてください!」と言い伝えました。

政治家が責任をとる覚悟で臨むことで、はじめて官僚は動けるのです。

案の定、みんなよくやってくれました。情報が漏れることもありませんでした。

20日、石油エネルギー公団総裁とエネルギー大臣が乗るチャーター便に、無理を言って同乗させていただき、現地施設入りを果たし、邦人の安否を確認しました。ここでも、情報管理は徹底しました。

国民の知る権利もありますが、何より、ご家族・ご遺族の方々のことを考慮してのことです。日本に戻るとテレビ局や新聞社など38のところからインタビューの依頼がありましたが、お断りしました。静岡新聞社さんだけは、以前からのお約束でしたので応じておりますが・・・

亡くなられた10名の方々の分もしっかりと働いて、このような事件が2度とおこらないよう誓います。

今日はありがとうございました。